

**総務委員会 (8月2日～4日)**

豊田市：投票率向上の取り組みについて  
品川区：自治会加入促進の取り組みについて  
いわき市：防災体制整備について

豊田市は、直近の選挙においても投票率65・5%と高く、選挙啓発として大学のゼミ生が企画し、主に小学生を対象に選挙出前トークを大学生自らが実施しています。品川区は、条例を制定して、町会および自治会を良好なコミュニティの維持と形成に関して、区と協働する最大の相手方であると宣言しており、町会による加入申込書（返信はがき）の配布も斬新です。

いわき市は、東日本大震災の経験から①最大規模災害を想定した対策実施②自助・共助による地域防災向上等に取り組んでおり、本市の防災対策の参考になりました。



豊田市

**民生福祉委員会 (7月20日～22日)**

大津市：大津方式（発達障がい対策）について  
江戸川区：ひとり親家庭学習支援事業について  
郡山市：手話言語条例の制定について

大津市では「大津方式」と呼ばれる発達障がいのある子どもが健やかに成長するための切れ目のない支援に早くから取り組まれており、大きな感銘を受けました。

江戸川区では、ひとり親の貧困世帯における負の連鎖を断ち切るべく、それまでの経済支援に加えて、子どもの学力向上のため無料で学習支援などを行っています。

郡山市では、いち早く手話言語条例を制定し、実効的施策を展開されており、ICTを活用したコミュニケーションツールの導入は先進的な取り組みで、参考にになりました。

(委員長 藤原 平)



郡山市

**任会の報告  
常任委員視察**

**文教経済委員会 (7月15日～17日)**

金沢市：「ほんものの歴史文化を体感する旅」企画発信について

金沢の文化の人づくり助成について

荒川区：タブレットPCの全小中学校導入について  
町田市：創業支援事業について

金沢市は、伝統文化の力は人であり、観光コーディネートに関わる人材育成を進め、企画力向上をめざした取り組みを進めています。

荒川区は、全小中学校へ「タブレットPC」を導入し、授業での実験経過の蓄積や情報活用などで、活発な学習に役立てていました。

町田市は、「町田新産業創造センター」を設立し、意欲的な事業者に販路拡大、経営相談など多面的な支援で、独創的な企業の創出をめざしていました。いずれも先進的で、本市での取り組みの参考になりました。

(委員長 大塚忠司)



町田市

**建設水道委員会 (7月19日～21日)**

横浜市：川井浄水場再整備事業について  
浦安市：市街地液化化対策について  
近江八幡市：風景づくり事業について

横浜市の川井浄水場の再整備事業では、PFI手法を採用し、設計・建設期間が5年間、運転・維持管理期間が20年間で、総事業費は約277億円（税込み）ということでした。位置エネルギー（導水残圧・有効落差）を利用した膜ろ過方式を採用し、既存の浄水処理施設を稼働しながら更新工事が行われました。急速ろ過方式に比べて建設費、維持管理費、薬品使用量の削減などコストの縮減が図れたそうです。民間の技術力やノウハウの蓄積を最大限に活用した、PFI手法導入について、参考になりました。

(委員長 門田雅彦)



浦安市